

結果	コピー	成瀬	河野	安藤	堀田	鈴木	合計	受賞者
グランプリ	朝の時点では、無名でした。	1☆	2	☆		☆	3	山中 彰
準グランプリ	「出せるコピーがない」と、クライアントの前で言えますか。		2☆		1☆		3	田畑 卓也
ファイナリスト	その場で心、動かしたやつの勝ち。つまり、広告の原点。		1			2	3	浦上芳史
ファイナリスト	「広告は、賞じゃない。」獲ったら絶対言ってる。				1	2	3	中切 友太
	なんて納得できる落選だろう。		2				2	中村 謙一
	そろそろコピーライター以外が受賞する頃か。	1	1				2	藤田 篤史
	僕のコピーは、どこまで届くだろう。				2		2	永田 哲也
	大手だろうが、求人だろうが、フリーだろうが、床の上では平等だ。			2			2	飛田 哲志
	たくさんの人に見てもらいたくて、コピーライターになったんだ。				2		2	中切 友太
	あなたに入るはずの1票が、誰かの1票になっちゃうかも。		2				2	齋藤 大樹
	審査員の後ろにくっついて歩いた。	1				1	2	馬場 健太郎
	芽が出ないんじゃない。種を蒔いていないんだ。				2		2	合田 ビエール陽太郎
	ひょっとしたら受賞作を、つくっているかもしれない。				1		1	橋本 寿弥
	出すか出さないかは、自信じゃなくて向上心だ。				1		1	西村 美希
	あなたを受賞者にできるのは、あなただけです。				1		1	藤田 篤史
	去年の仕事を出品できるのは、今年だけです。				1		1	藤田 篤史
	既読率ほぼ100%の媒体でもある。			1			1	見田 英樹
	受賞してもなくても、明日からのやる気が変わるらしい。			1			1	見田 英樹
	シャッター音は、生いいねだ。					1	1	飛田 哲志
	受賞者にはそう簡単になれないけど、挑戦者になら今すぐなれる。			1			1	山中 彰
	見られることを経験すると、半端な仕事はできなくなる。	1					1	山中 彰
	エントリーしたほうが、ハングリーでいられる。				1		1	山中 彰
	私のコピーが、人間ホイホイに！		1				1	齋藤 大樹
	受賞は、目に見える親孝行だ。		1				1	佐藤 仁康
	あー、そう書けばよかったのか。	1					1	間宮 結以
	CCNで知った。審査講評は読むものではなく、直接聞くものだ。	1					1	西垣 強司
	代表作は作るものではなく、選ばれるものだ。	1					1	鳥居 朋広
	受賞できなかったけれど、「頑張ってるね」と言ってくれる人がいた。	1					1	関谷知加
	挑戦しないコピーライターは、良いコピーライターといえるだろうか。				1		1	田畑 卓也

※応募数1662本、応募者45名。

※審査は、一次審査→二次審査→決選投票という順番で審査。

※一次審査は各審査員が良いと思うコピーに1票を入れ、1票以上を獲得したコピーを二次審査へ。

※二次審査は各審査員に「1票」もしくは「2票」を持ち点として審査。